

春日井市の現状及びこれまでの取り組み

1 外国人住民について

2023年（令和5年）4月現在における外国人の人口は8,339人で、外国人比率は2.7%となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に減少したが、2022年（令和4年）頃から増加傾向にある。

なお、2022年（令和4年）12月末現在における県の外国人人口は286,604人で、外国人比率は3.83%である。

2 長期滞在者について

長期滞在看込まれる「永住者」「定住者」等の在留資格を持つ外国人住民が増加している。2018年（平成30年）からの5年で約15%増加している。

3 外国人住民の国籍別人口について

外国人住民の国籍別人口は、ベトナム、韓国・朝鮮、フィリピン、中国、ブラジルの順が多い。上位5か国の人口は、外国人総人口の約78%である一方、全体では71ヶ国(2023年（令和5年）4月現在)の登録があり、住民の多国籍化が進んでいる。

4 春日井市のこれまでの主な取り組み内容について

<基本理念>

お互いの国籍や民族、文化を認め合い、共に尊重し支え合って「春日井市民」として暮らせる社会の実現

(1) 外国人市民が暮らしやすい生活環境を整える

項目	内容
情報伝達及び相談体制の充実	多言語による情報提供の充実
	やさしい日本語（外国人にもわかりやすい表現）の活用
	総合的な支援体制の整備
危機管理意識の啓発	防災・防犯・交通安全意識の啓発
	災害に備えた支援体制づくり
職場環境の整備	外国人を雇用する企業への啓発
	関係機関との情報共有と連携強化

(2) 互いの文化を認め合う社会を構築する

項目	内容
子どもの教育環境の充実	子どものための支援体制の充実
	外国人家庭（保護者）への働きかけ
	子どもの教育に関わる関係機関の連携強化
人材育成と活躍の場の提供	外国人市民のキーパーソンの支援と活躍の場の提供
	外国人市民に対する多文化共生啓発
	日本人市民に対する多文化共生啓発

(3) 多文化共生の地域づくりをする

項目	内容
市民同士の交流促進	外国人市民との交流事業
協働の推進	外国人市民の地域活動への参加促進
	外国人市民と地域をつなぐ体制づくり